

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 1 日 (2017.6.1)

【公開番号】特開 2016-177929 (P2016-177929A)

【公開日】平成 28 年 10 月 6 日 (2016.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2016-058

【出願番号】特願 2015-55854 (P2015-55854)

【国際特許分類】

H 0 1 M 8/02 (2016.01)

H 0 1 M 8/10 (2016.01)

H 0 1 B 13/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/12 (2006.01)

C 0 8 L 23/26 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 8/02 P

H 0 1 M 8/10

H 0 1 B 13/00 Z

C 0 8 L 101/12

C 0 8 L 23/26

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 11 日 (2017.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電解質膜の製造方法であって、

電解質膜前駆体の加水分解処理に用いる処理液を、前記電解質膜の樹脂と同質のアイオノマーが溶解した処理液に調製する工程と、

前記電解質膜前駆体を、前記調製された前記処理液に含浸させる工程とを備え、

前記処理液は、前記電解質膜がイオン伝導性を発揮するために有するイオン交換基の 1 当量に対応するアイオノマーの乾燥樹脂重量で定義される当量重量が 1500 以上で 1900 以下のアイオノマーを、少なくとも 0.001 wt %、溶解して含有する

電解質膜の製造方法。

【請求項 2】

前記アイオノマーが含有された処理液は、前記アイオノマーが 0.01 ~ 0.5 wt % の範囲で溶解して含有された処理液に調製されている、請求項 1 に記載の電解質膜の製造方法。